

佐波川でアユ人工産卵場造成が行われました

アユは山口県の内水面における最重要魚種です。そのため、県内各内水面漁業協同組合では、アユを増やすために、種苗放流を始めとした様々な取り組みが行われています。

佐波川漁業協同組合では、その一環として、毎年、アユの人工産卵場造成を行っており、今年も10月上旬に実施されました。水産研究センターとしても、造成適地や手法等について漁協に指導を行っています。

ちなみに、この効果は絶大で、毎年大量のアユが産卵場に集まり、産卵を行っていることが確認されています。こうした努力もあって、令和7年の佐波川の遡上アユは近年にない大量遡上が見られたところです。



造成されたアユ人工産卵場



造成された人工産卵場で産卵するアユ